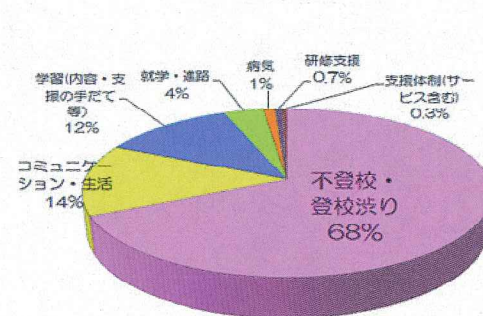


地域支援センター「サポートJOYO」

～不登校、不適應の支援を中心に～



「サポートJOYO」への相談内訳

本センターでは、発達障害等を背景とする不登校や心理的課題に対する相談支援に力を入れてきました。相談総数の半数以上が不登校であり、そのほとんどが発達障害の二次障害です。病弱教育部をはじめとする本校の専門性を生かし、隣接する南京都病院等の医療との日常的な繋がりのもと、学校や関係機関と連携しながら、子どもや保護者の思いを大切に、より良い支援の方法を相談しています。

病弱通級指導教室

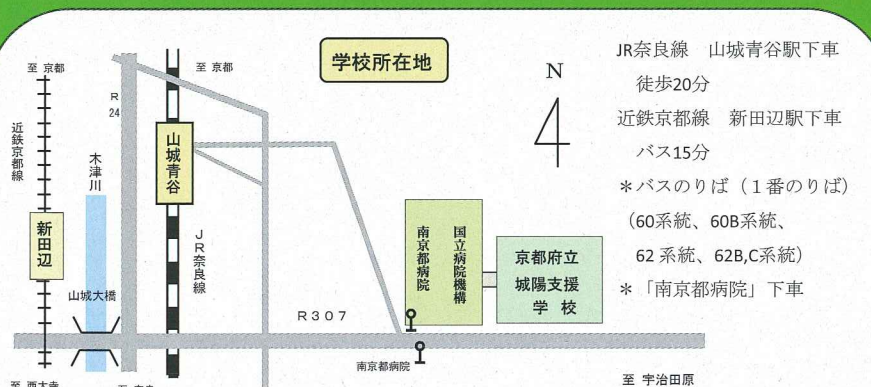
病弱及び身体虚弱（不登校）の児童生徒を対象とした通級指導教室です。本校の校医（南京都病院、リハビリテーション病院）から紹介を受けた児童生徒が対象です。この教室で力を付け、地域の小・中学校で学校生活が元気で送れることをねらいとしています。

JOYOSIENGAKKOU

2014

School Guide

京都府立城陽支援学校



重心教育部

病弱教育部

通学高等部



自立活動



遊びの指導



支援機器の活用



体育大会

重心教育部

対象 〓 東京都病院に入院している重症心身障害の児童・生徒

学習 〓 「自立活動」と「あそびの指導」が中心

特徴 〓 医療との連携の中で一人一人のニーズに応じた教育



体験学習



プール学習



体育大会



自立活動



お年寄りとの交流

病弱教育部

対象 〓 東京都病院に入院している児童・生徒

学習 〓 小・中学校に準ずる教育課程

特徴 〓 病気による学習空白をうめ、学力充実のためのきめ細やかな指導

笑顔いっぱい 力いっぱい

×

学習と治療の両立

×

自立と社会参加

城陽支援学校

一人一人の願いの実現のために

「重心教育部」は「毎日を快く力いっぱい生きる」という願いを大切にして、東京都病院小児科医師をはじめ、病棟等と連携して教育活動の充実を図っています。

「病弱教育部」は「学びながら病気を治したい」という願いに応じて、病院、前籍校、家庭と協力しながら学習と治療の両立を目指しています。

「通学高等部」は「働きたい」という願いの実現に向けて、職業教育として様々な教科学習や実習などの取組を行っています。卒業後も企業や労働支援機関等と協力してサポートをしています。

それぞれ学びのスタイルは違いますが、「将来こうあってほしい」という願いのために、今つけておきたい力を見据えて日々の授業を大切に積み重ねています。

通学高等部

対象 〓 山城教育局管内の中学校を卒業した軽度の知的障害の生徒

学習 〓 作業学習、進路学習、販売学習、現場実習及び教科学習

特徴 〓 職業教育の充実を図り、自立と社会参加を目指す



作業学習と木工製品（左写真）



スポーツ交流会



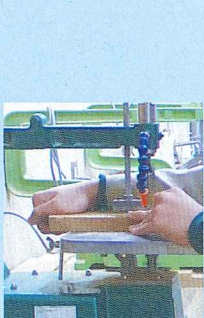
販売学習



現場実習



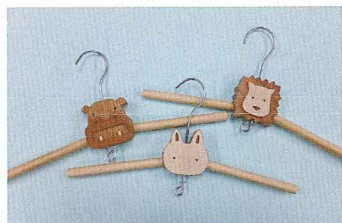
合唱隊



教科「生活社会」



体育大会



学校教育目標

1 いのちを大切にして生きる力を育てる

2 心豊かにたくましく生き抜く意欲と態度を育てる

3 自立し社会参加する力を育てる